

子どもたちの主体性を育てるスピーチイベント開催！

AND Speech Fes

未来を創る子どもたちの力

私たちの未来を担う子どもたちに求められる力とは何でしょうか？
その答えは「主体性」にあります。

自分の頭で考え、行動し、挑戦する力が、これからの社会を創っていきます。
今回、私たちは子どもの主体性を育てるための教育アイデアとその価値を社会に向けて発信します。

このイベントでは、プレゼンターが主体的な子どもの育成について語り、
参加者のみなさまと「これからの教育」について考えます。
ぜひ、このイベントに参加し、一緒に未来を語り合しましょう！

2024年12月22日 日 13:00～17:00
(開場 12:30)

■ 場所：アオーレ長岡アリーナ 新潟県長岡市大手通1-4-10

■ 主催：長岡市バスケットボール協会 ■ 後援：長岡市教育委員会

参加費 お一人
1,000円

対象者 小・中学生、保護者
教職員、スポーツ指導者

大人・子どもに関わらず、
どなたでも参加OK！
親子参加大歓迎です！

ご予約はこちら

※申し込み期限：2024年12月19日（木）



お申し込みはこちらの二次元バーコードからのみの受付です。

プレゼンター

伊藤周平 Shuhei Ito



司会者・プロデューサー
AND project代表

柳澤魁秀 Kaishu Yanagisawa



書・篆刻作家
国立トリノ大学講師

本間朋弘 Tomohiro Honma



横浜創英中学
高等学校校長

堀里也 Satoya Hori



新潟市立白新中学校
教諭

鈴木将 Sho Suzuki



SUZUGROUP
代表取締役社長

鈴木良和 Yoshikazu Suzuki



株式会社ERUTLUC
代表取締役社長

スケジュール

- | | | |
|-------------|------|---|
| 13:00-13:10 | 伊藤周平 | イベントの目的 |
| 13:15-13:45 | 柳澤魁秀 | 国際化の波の中で、日本人に求められるものとは |
| 13:55-14:55 | 本間朋弘 | 未来を見据えた学校改革 |
| 15:05-15:35 | 堀里也 | 学校の放課後をデザインし直す部活動改革～その先に見据える地域協働による学校づくり～ |
| 15:45-16:15 | 鈴木将 | 教育をアップデートするSUZUGROUPの考え方 |
| 16:25-16:55 | 鈴木良和 | オリンピックでの戦いから何を学ぶか～チーム闘争のメンタリティ～ |
| 16:55-17:00 | 伊藤周平 | 変わる力、変える力 |

学校・スポーツ・芸術・ビジネスの各分野から教育アイデアをプレゼン！

柳澤魁秀 Kaishu Yanagisawa



スピーチ 国際化の波の中で、日本人に求められるものとは

▶ Profile

文化庁芸術派遣講師。書・篆刻工房アトリエ蒼穹房、ギャラリー回 kai 主人。書・篆刻作家として、2002年FIFAワールドカップ公式エンブレム「スタンプバージョン」を依頼され制作し、世界デビューを果たす。世界各国の美術展に日本代表作家として招待参加。エキシビジョンやワークショップを開催。その活躍は、アメリカ、韓国、中国、チェコ、イタリアのTVに出演、各国メディアで紹介される。また、国際的な教育賞である白川静漢字教育賞を受賞！教育現場やTV出演、公演など幅広く活躍中。オリンピックをはじめ国内外のビッグイベントのロゴ制作。イタリア国立トリノ大学講師や韓国、チェコなど各国でセミナー、ワークショップを展開している。

スピーチ 未来を見据えた学校改革

▶ Profile

横浜創英中学・高等学校校長。Zから『解決センター日本史』『ハイスコア共通テスト攻略日本史』など参考書を多数執筆。学びを生徒の主体に移譲し、社会とつながる実学的な学びを重んじたカリキュラムを構築。学校が変われば社会も変わることを信じて、教育を本気で変える学校改革に取り組んでいる。その一方で、働き方改革を、「目的である学校改革を為すための手段にすぎない」と位置づけ、学校改革の前段としての組織的な働き方改革を進めた。学校にとどまらず、自治体や民間の教育機関など、積極的に講演活動を行い、新しい学校像の共有に努めている。

本間明弘 Tomohiro Honma



堀里也 Satoya Hori



スピーチ 学校の放課後をデザインし直す部活動改革～その先に見据える地域協働による学校づくり～

▶ Profile

新潟県教員として、バスケットボール指導を精力的に行ってきた。2017年に母校鳥屋野中学校を率いて全中準優勝、2021年には白新中学校を率いて全中優勝を果たす。U16男子日本代表のアシスタントコーチを務めるなど、育成年代の指導者としても精力的に活動してきた。また、白新中学校では、部活動改革を先頭に立って推進。2024年には同改革実践「生徒が輝くブカツイノベーション～生徒自らがデザインする放課後活動の創造～」が、独立行政法人教職員支援機構(NITS・ニッツ)から第7回NITS大賞に選ばれた。

スピーチ 教育をアップデートするSUZUGROUPの考え方

▶ Profile

SUZUGROUP代表取締役社長。東京、大阪のレストランで10年間飲食店運営について幅広い視点で学び、2007年に帰郷。父の経営する会社に入社後、地域に特化した多ジャンルの飲食店プロデュースや、伝統野菜を使用した食品開発などを手がける。イタリア、スペインでの食留学を経験後、地域の食を取り巻く現状を俯瞰的に見て再構築する「地域デザイン」の重要性に気づき、まちづくり、教育、観光といった様々な分野で地域の価値をアップデートする活動をしている。2024年グッドデザイン賞、環境省第11回グッドライフアワード受賞。

鈴木将 Sho Suzuki



鈴木良和 Yoshikazu Suzuki



スピーチ オリンピックでの戦いから何を学ぶか～チーム闘争のメンタリティ～

▶ Profile

株式会社ERUTLUC代表取締役社長。2007年に株式会社ERUTLUC/バスケットボールの家庭教師を立ち上げる。企業理念は、①より多く子どもたちになりうる最高の自分を目指す環境を提供する、②チームスポーツだからこそできる教育に貢献する、③世界で最もビジョナリーなコーチチームをつくる、である。スポーツ分野にとどまらず、ビジネス界にも精通するコーチング理論を国際的に研究・進化させている。2020年バスケットボール男子日本代表サポートコーチ、2024年バスケットボール女子日本代表アシスタントコーチを務める。

司会進行 変わる力、変える力

▶ Profile

2017年新潟県の教員としてキャリアをスタート。様々な子どもたちとの出会いや書籍からの学びをヒントに、スポーツ指導の価値を「社会への貢献」に見出す。2022年にAND Projectを設立し多くの教育イベントを企画してきた。2024年に長岡市バスケットボール協会強化委員長に就任。現在、バスケットボール指導現場から「主体的な人材育成（自分で考えて行動できる子どもの育成）」を社会に広めるため、選手や指導者、保護者に向けた各種のセミナーやイベントを行なっている。

伊藤周平 Shuhei Ito

